

## 今月の管内農業情報（田原農業改良普及課）

[2020年8月24日]

### 7月の農業情報

**タイトル** 今年の夏ぎくほ場共進会は収益性にも着目！

**とき** 令和2年 7月30日(木)

**ところ** キク生産者ほ場(田原市)

**主体・対象** JA愛知みなみ輪菊部会(723名)

#### 内容

第35回田原市・JA愛知みなみ夏ぎくほ場共進会が開催された。今年は草姿や花形などの品質だけでなく、栽植密度や等階級の発生状況などの収益性にも着目した審査が行われた。

第1席となったほ場は「精の一世」を栽培しており、栽植本数が3.3㎡あたり200本と密植にもかかわらず、ロスが少なく、生育・開花も揃っており、品質も素晴らしい出来栄であった。

本年度の出品ほ場は8月旧盆出荷作型であった。生育中期から開花まで曇雨天が続いた難しい栽培条件であったが、出品されたほ場20点は生育や開花の揃いもよく、草姿のバランスもよいものばかりで、天候不良をもものとしめない技術の高さがうかがえた。

本作型は供花用にM、S規格の引き合いも強いいため、通常期よりM、S品の発生率を上げるために栽植本数を増やしたほ場もみられた。今年は栽植本数を多くしつつ、ロス率が抑えられ、2LからSまでバランスの良い階級の発生と秀品率が見込まれたほ場に高い評価がつけられた。

今後、農業改良普及課は、上位入賞者の栽培管理方法を聞き取り、部会員へ周知することで管内の生産技術向上に役立てていく。



ほ場審査の様子